

# 御船町竹バイオマス事業

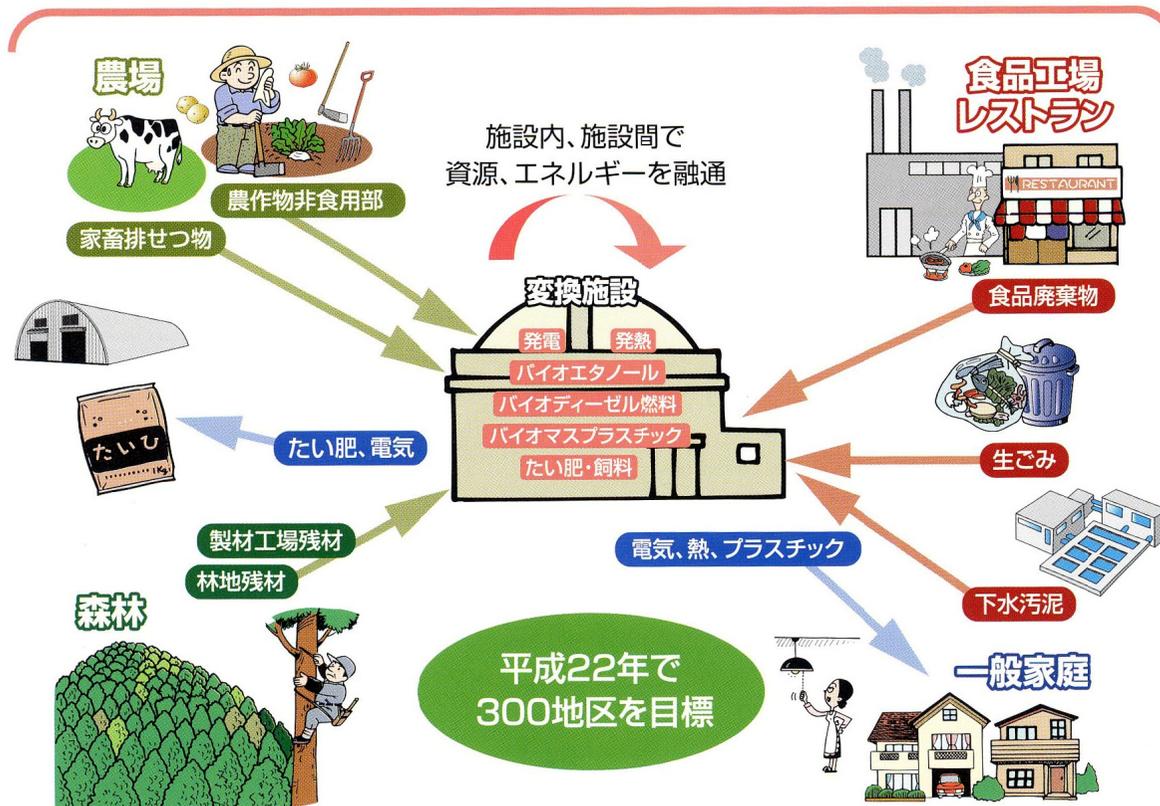
栗原秀子議会前懇談会

平成22年2月9日



# バイオマスタウンとは？

域内において、広く地域の関係者の連携の下、バイオマスの発生から利用までが効率的なプロセスで結ばれた総合的利活用システムが構築され、安定的かつ適正なバイオマス利活用が行われているか、あるいは今後行われることが見込まれる地域のことです。



一部のバイオマスだけでなく、一部の人だけでなく、  
地域みんなで、地域のバイオマス全体を効率的に利用！

# 事業の流れ

H 20年 4月 バイオマスタウン構想を公表

H 20年10月17日 竹資源開発株式会社設立

H 20年10月27日 竹事業の計画書を国に提出

H 20年11月27日 国より 事業割当内示

# 御船町の竹事業の内容

- 竹の突き板 住宅用床材
- 竹綿 紙おむつ、生理用ナプキン

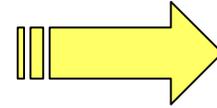
国からの補助金 10億円

自己資本金(借入金) 10億円

町は参入しない 竹搬出に関して協力する

# 問題点

6,600万円の資本金

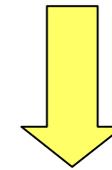


3,310万円

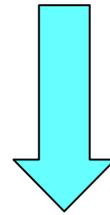
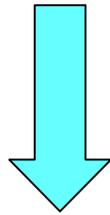
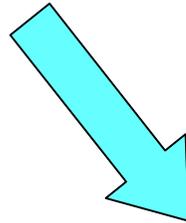
A社

B社  
社長個人

C社



610万円



御船町竹資源開発株式会社

# 事業の進み方

H 20年12月18日 交付決定通知

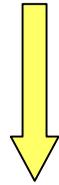
H 21年 1月27日 町へ概算払交付金  
2億円が交付される

H 21年 2月10日 町から竹資源開発(株)へ  
2億円を交付

H 21年 3月19日 竹資源開発(株)が減額申請

# 事業の進み方

農水省

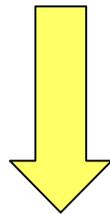


町

# 事業の進み方

- 平成21年3月までに融資は受けられなかった

自己資金 0



町長 「町・JA・森林組合  
が入れば融資を受けられた」

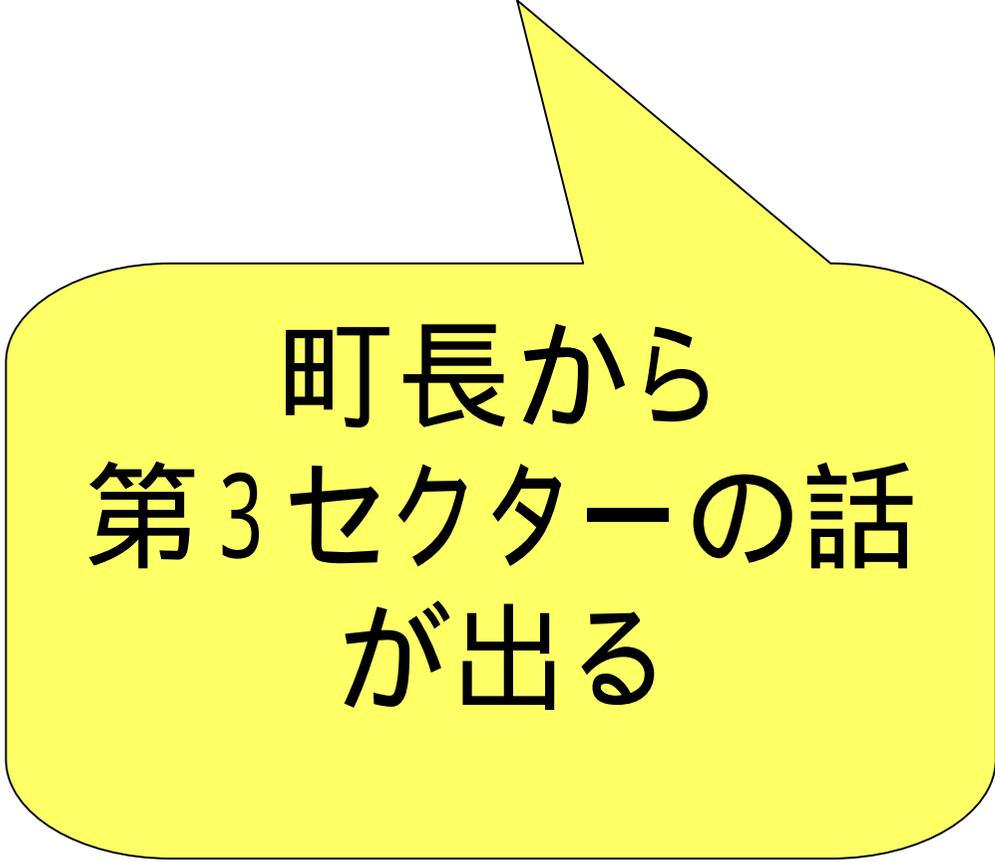
# 問題点

- 自己資金ができていないのに  
補助金が交付された



国と町の実任

H 21年10月頃



町長から  
第3セクターの話  
が出る

# 竹事業について調べる

突き板について

竹綿について

# 延ばされた臨時議会

- 11月24日 臨時議会
- 12月にも臨時議会の予定があった

# 1月15日臨時議会

- 町が3000万円資本を出して

第3セクターになる

融資13億円

財団法人  
聖徳太子会

2社が資本参入  
1社が増資

# 聖徳太子会を調べる

- 静岡県富士宮市

聖徳太子の  
偉業を広める

町長答弁

東京都千代田区九段北  
代表 根木東洋

# 町長が答えた聖徳太子会を調べる

文科省に尋ねました

静岡の聖徳太子  
会に確認

担当課に履歴事項全部証明書を取るよう依頼

静岡県の聖徳太子会  
しかありませんでした

聖徳太子会と

代表者名を騙った融資である

町に不利益が!!

町民の皆さんに  
真実を知ってもらおう

# 2月3日全員協議会

町長

融資ではなく投資でやる  
第3セクターでやる

13億円の融資は  
入らなかった

投資元

聖徳太子会

2月に5億円

3月に3億円

5月に5億円

A社

竹資源開発(株)

補助事業が  
終わり

# 議会の反応

3千万円の執行  
は止めて欲しい

1月15日の臨時議会  
の内容と違う

できれば続け  
て欲しい

- ・ 融資が投資
- ・ 国の補助事業で  
13億円の融資がある  
とのことだった

特別委員会で事務監査を実施  
3千万円の執行に申し入れ書

# 2月5日全員協議会

竹資源開発(株)

1社と個人

新たに資本を出す

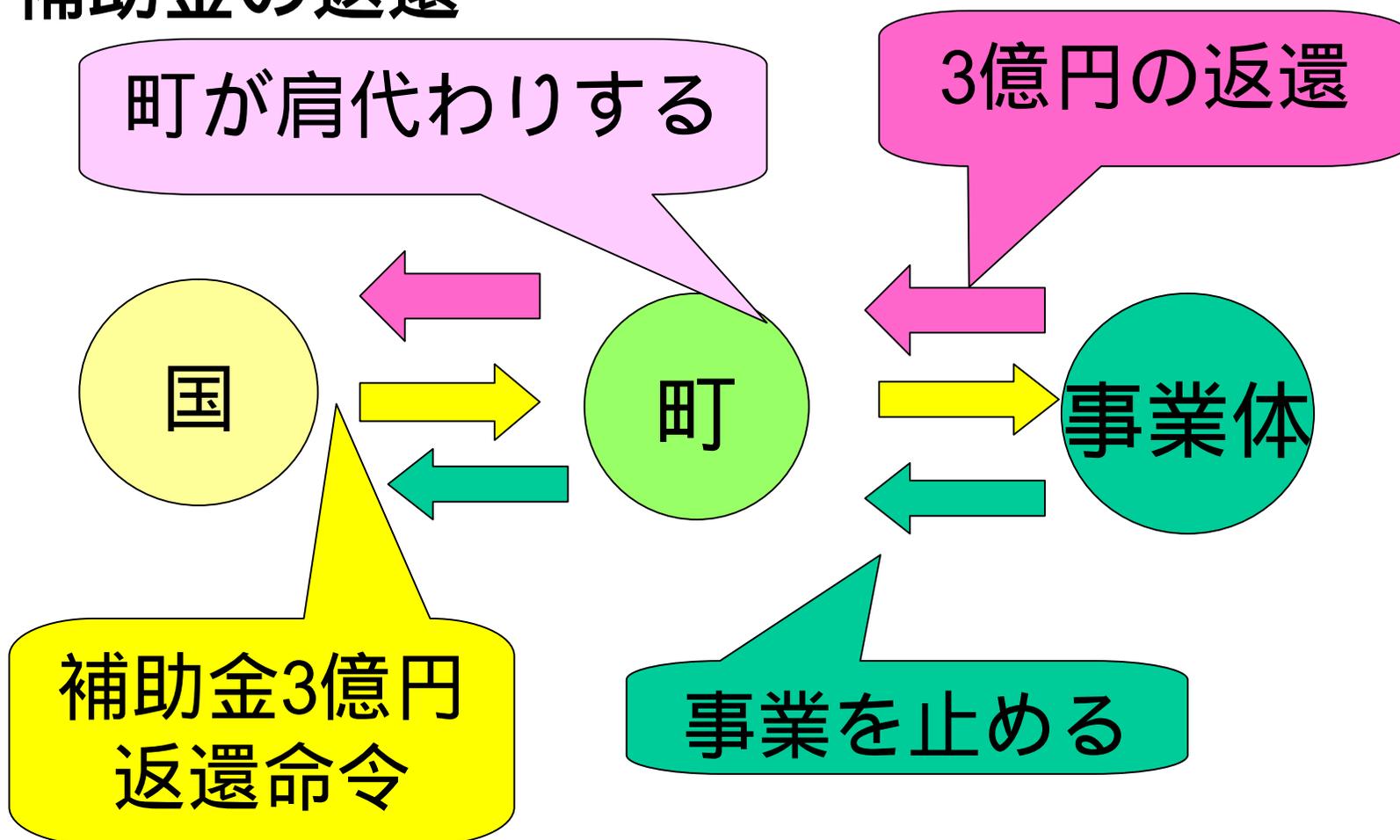
2社

初めて  
聞いた

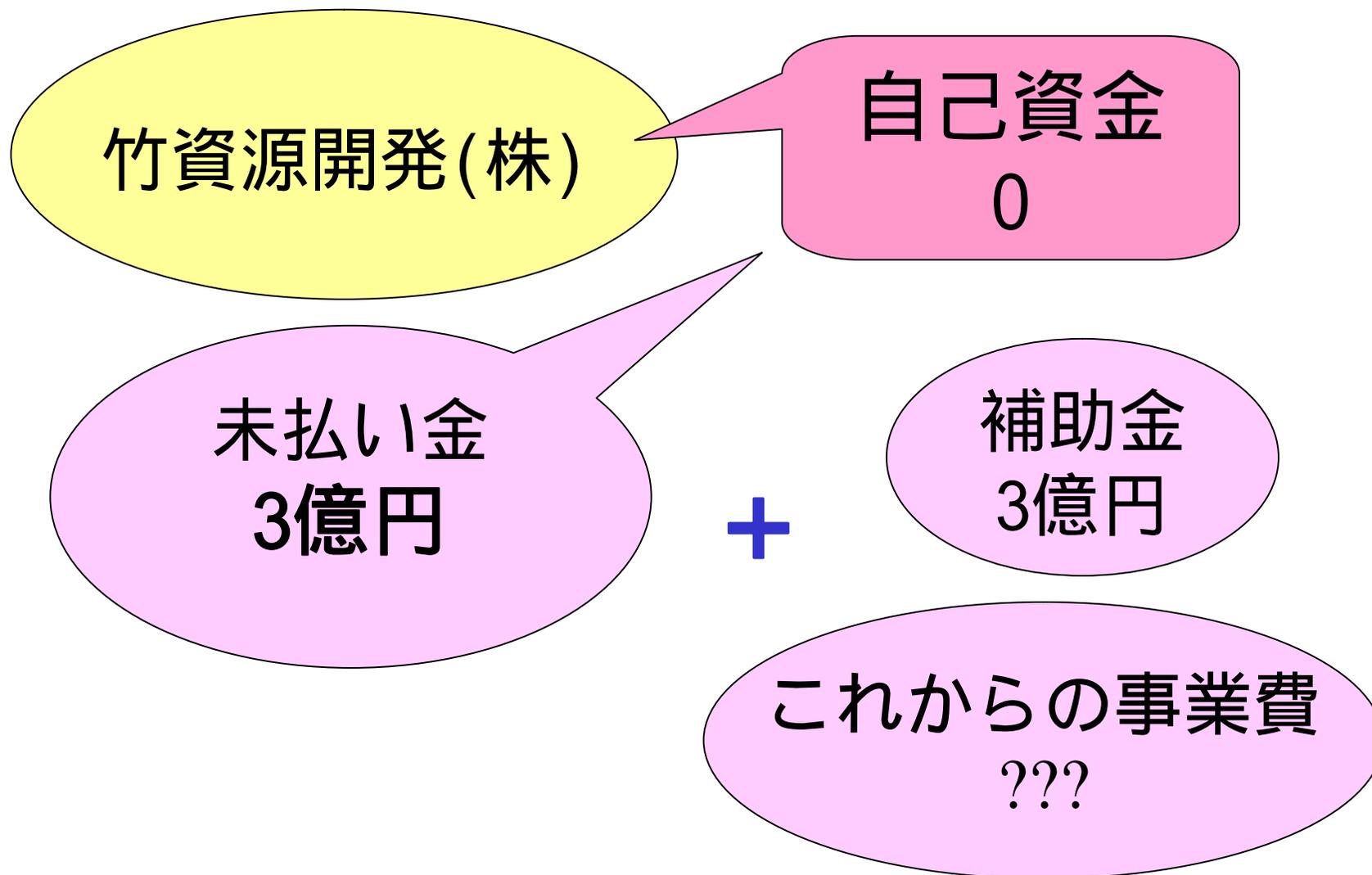
補助金3億円を返し  
民間でやる

# 現在の負債の可能性

## 補助金の返還



# 今第3セクターになったら



# 大切なこと

- 第3セクターにしないこと  
町長に声を伝える
- 3億円の返還をなるべく減らすこと  
議会の役割が大きい